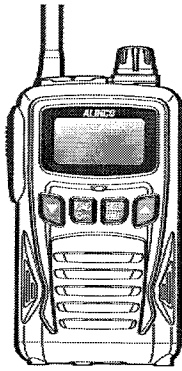


ALINGO

特定小電力ハンディトランシーバー (総務省技術基準適合品)

DJ-PB27 取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。



アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。

アルインコ株式会社 電子事業部. アフターサービスに関するお問い合わせは... お買い上げの販売店または、フリーダイヤル0120-464-007

安全上のご注意

製品を安全にご利用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

Table with 2 columns: 表示 (Warning symbols) and 表示の意味 (Meaning of symbols). Includes symbols for Danger, Caution, Attention, and Prohibition.

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは発煙などの故障原因に共通する現象を伴った場合に生じた障害などの有無を確認するに当たっては、当社は一切その責任を負いません。

警告・注意

- 使用環境・条件: この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
■警告: この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

使用前のご注意

- ご使用環境: 高温、多湿、直射日光の当たるところ、おしんぎの多い場所は避けてお使いください。
■分解しないで: 特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。
■ご使用禁止場所: 本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。3分制限 (3分以上は連続で送信できません) ... 10秒前に警告音が鳴ります。

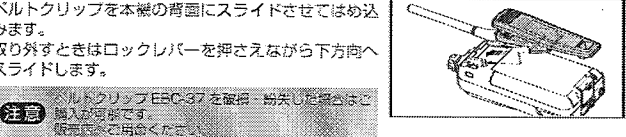
キャリアセンス (受信中は送信できません)

一定の強さ以上の信号を受信しているときは [PTT] キーを押しても送信できません。受信中に [PTT] キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

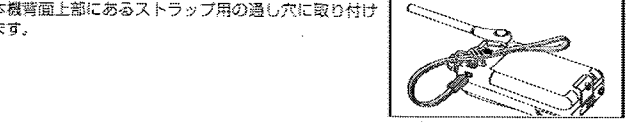
付属品と取り付け方

- 付属品をご確認ください: ベルトクリップ, ハンドストラップ, 取扱説明書 (本書), 保証書
■ベルトクリップの取り付け: ベルトクリップを本機の背面にスライドさせてはめ込みます。

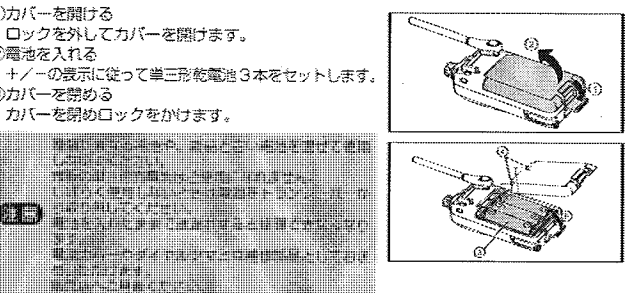
ベルトクリップの取り付け



ハンドストラップの取り付け



電池の入れ方

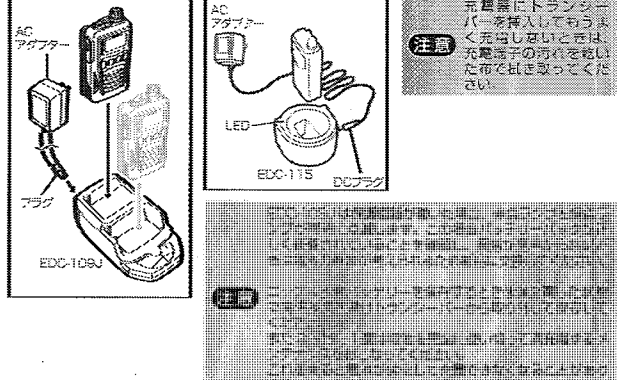


充電池および充電器 (オプション)

- 充電池、充電器および関連するアクセサリは下記のとおりです。
■充電器の取り扱いについて: 充電器のACアダプターをACコンセントに確実に差し込んでください。
■充電器の取り付けについて: 充電器のACアダプターをACコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。

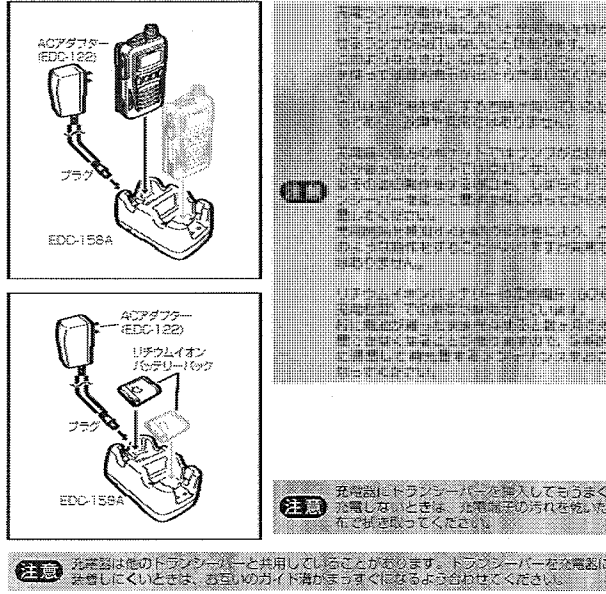
ニッケル水素バッテリー EBP-25NH の充電 (EDC-109J/EDC-115)

- ①ニッケル水素バッテリーEBP-25NHを極性に注意してトランシーバーに装着します。
②ACアダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。
③トランシーバーを充電スタンドのポケットに挿入します。



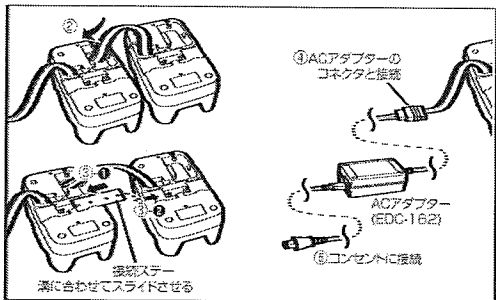
リチウムイオンバッテリー EBP-70 の充電 (EDC-158A/EDC-184A)

- ①リチウムイオンバッテリーEBP-70を極性に注意してトランシーバーに装着します。
②ACアダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。
③トランシーバーを充電スタンドの、前後いずれかのポケットに挿入します。



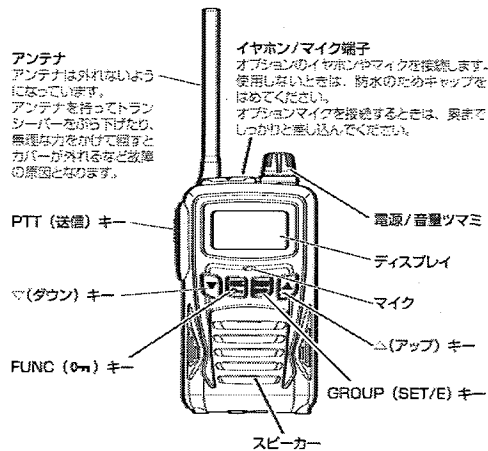
連結スタンド EDC-158R による充電
EDC-158Rを使用して連結充電する場合、必ず大容量のACアダプターEDC-162が必要で

- ① ACアダプターがEDC-162であることを確認します。
- ② スタンドのコネクタどうしを接続します。スタンドは最大4台まで連結できます。
- ③ 付属の接続ステーをスタンド底面の溝に合わせてスライドさせます。
確実にスタンドどうしが固定されたことを確認してください。
- ④ ACアダプターのコネクタを、線のスタンドのコネクタに接続します。
- ⑤ ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
- ⑥ トランシーバーまたはバッテリーパック単品を充電スタンドのポケットに挿入します。
充電が開始され赤色ランプが点灯します。
最大8台まで同時に充電することができます。
- ⑦ 充電が完了すると赤色ランプが消灯します。

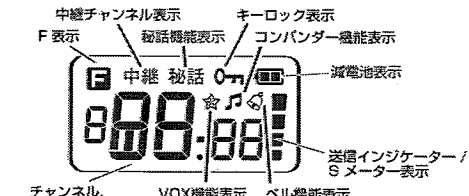


各部の名前とほたらき

前面部



ディスプレイ



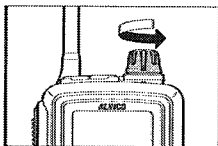
基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

交互通話

電源を入れる

電源/音量ツマミを時計方向に回します。



音量を調整する

電源/音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。
マキーと△キーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえ、音量の目安となります。
適切な音量に調整してください。

チャンネルを合わせる

マまたは△キーを押して交互通話用チャンネルのL01～09、b01～11を選択します。
通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせてます。
キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。

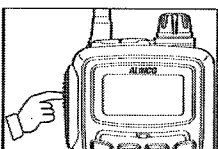


受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。
ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

送信する

信号を受信していないことを確認してから [PTT] キーを押します。
→ [PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。マイクと口元は約5cm離してください。
一定の強さ以上の信号を受信しているときは警告音「プププ」が鳴り送信できません。
[PTT] キーを離すと受信待ち受け状態に戻ります。



コールトーン機能

送信中にマまたは△キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手呼び出すことができます。
マと△キーでは音色が異なります。

中継通話

直接の通信では電波が届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。別途、弊社製の中継器が必要です。

チャンネルを合わせる

マまたは△キーを押して中継通話用チャンネルのL10～18、b12～29を選択します。
→ 「中継」が点灯します。



送信する

[PTT] キーを押して続けます。
→ 直後に「ビビ」という音が鳴ります。
[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。

メモ お使いになる中継器の設定をご確認ください。
中継器にグループトーン機能が設定されている場合は、本機にもグループトーン機能を設定してください。

注意 中継用チャンネルで使用する時の設定はできません。
それ以外の設定が空回りにあると動作することがあります。
子機-中継器間、子機-子機間は100m以上離してください。
お使いになる中継器の仕様によっては電波がうまくおこなわれないことがあります。
そのようなときはセットモードの初期設定を手戻しをお試しください。

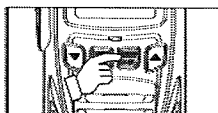
グループトーン機能

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーン機能を使用します。

ノイズ音や混信を低減する効果があります。

[GROUP] キーを押す

→ グループ番号が点灯します。



グループ番号を合わせる

[FUNC] キーを押しながらマまたは△キーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせてます。

グループ番号は01～50を選択できます。

送信する

[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。
→ 同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

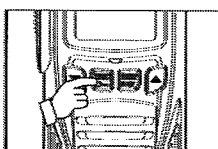
キーロック

キーロックしておくとお誤操作を防止できます。

簡易キーロック (Loc1)

[FUNC] キーを約2秒押します。
→ 「Loc1」が点灯したあと「0m」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。



セットモード

各種機能を用途やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

セットモードにする

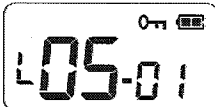
- ① [FUNC] キーを押しながら [SET] キーを押します。
→ セットモードに入り項目が表示されます。
- ② [SET] キーを押すごとに項目が切り替わります。
[FUNC] キーを押すと前項目に戻ります。
- ③ マまたは△キーを押して設定値を変更します。
- ④ [PTT] キーを押して設定を完了します。

メモ セットモードについての詳しい内容は、弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.alinco.co.jp/> 「電子事業」

セットモード	機能説明	選択項目	初期値
bt-AL	電池選択 (アルカリ / NiMH)	AL/Li/ni	AL
CP-oF	コンパウンダー (雑音低減)	OFF/ON	OFF
vo-oF	VOX (音声検知装置)	OFF/Lo/Hi	OFF
SC-oF	秘話	OFF/ON	OFF
bP-Lo	ビーブ音 (操作音)	OFF/Lo/Hi	Lo
EP-on	エンドビー (送信終了音)	OFF/ON	ON
bL-oF	ベル (呼び出しお知らせ)	OFF/ON	OFF
LP-5	ランプ	OFF/5秒/ON	5秒
PH-oF	PTT ホールド (送信保持)	OFF/ON	OFF
Pt-on	PTT オフオフ (送信禁止)	OFF/ON	ON
At-2	中継接続手戻	OFF/1/2	2
Er-on	イヤホン断線検知	OFF/ON	ON
Ob-oF	コールバック	OFF/ON	OFF
Pa-Hi	送信出力 (Hi: 10mW / Lo: 1mW)	Lo/Hi	Hi
EG-oF	緊急通報機能 ([SET/E] 長押しで通報)	OFF/ON	OFF

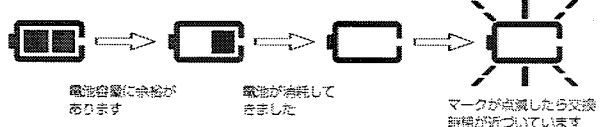
通常キーロック (Loc2)

[FUNC] キーと [GROUP] キーを同時に約2秒押しします。
→ 「Loc2」が点灯したあと「0m」が点灯します。
解除するには同じキー操作をします。



減電池表示

電池の残量はディスプレイに4段階で表示されます。



「電源が入らない」「ON/OFFを繰り返す」「ディスプレイ表示が消える」「ハウリング」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられます。
新しい電池と交換してください。

しばらくご使用にならないときは、必ず電池を取り外してください。

メモ 「電池選択 (セットモード) 設定が確定でないとき正しいタイミングで電池交換時期を表示しませんが、

リセット

設定状態や操作がわからなくなったときに初期化します。

[FUNC] キーを押しながら電源を入れます。
→ ディスプレイ全点灯中に [FUNC] キーを離します。
→ 工場出荷状態の L01 チャンネルになります。



その他の機能

本書には記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.alinco.co.jp/> 「電子事業」
内容をよく理解してからこれらの機能をお使いください。

デュアルオペレーションモード

メイン サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することができるモードです。1台のトランシーバーで2台のはたらきをします。

リモコンモード

本機をリモコンとして中継器のチャンネルなどを遠隔操作する機能です。本機は中継器 DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112R に対応しています。

メモ 誤ってこれらのモードに切り替わり、ディスプレイにおかしな表示が出たときは電源を入り直すか正常な状態に回復することがあります。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない、表示が消える。	電池の入れ方が間違っている。 電池が消耗している。	電池を正しく入れ直してください。 新しい電池と交換してください。 充電機を充電してください。
音が出ない、受信しない。	音量が低すぎる。 チャンネルが違っている。 グループ番号が違っている。	適切な音量に調整してください。 同じチャンネルに合わせてください。 同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	番号を受信している。 3分の送信制限時間を超過している。	番号がなくなつてから送信するか、チャンネルを変更してください。 PTT キーを離し2秒たってから送信してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない	充電端子が汚れている。 充電機が専用品でない。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。 専用充電機 EBP-25NH、EBP-70 を使用してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。
電池が消耗していると誤動作することがあります。新しい電池と交換してください。

製造中の製品に対する保身年限に関して

生産終了製品に対しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。
不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありますのでご了承ください。
補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

オプション

EBP-25NH ニックル水素バッテリーパック	EME-21AB イヤホンマイク黒 (カナル型)
EBP-70 リチウムイオンバッテリーパック	EME-29A イヤホンマイク (耳かけ型)
EDC-109J ツイン充電器セット (EBP-25NH用)	EME-57A イヤホンマイク (カナル型/耳かけ)
EDC-116 シングル充電器セット (EBP-25NH用)	EME-30A イヤホンマイク (ブームマイク)
EDC-158A ツイン充電器セット (EBP-70用)	EME-31A イヤホンマイク (マイクロスピーカー)
EDC-158R ツイン充電スタンド (EBP-70用)	EME-31A イヤホンマイク (耳かけ型)
EDC-162 連結充電用 AC アダプター	EME-32A イヤホンマイク (オープンエア型)
EDC-184A シングル充電器セット (EBP-70用)	EME-53A ヘルメット用ヘッドセット
EME-6 ストレートコードイヤホン (オープンエア型)	EME-34A イヤホンマイク (カナル型)
EME-26 カールコードイヤホン (オープンエア型)	EME-49A イヤホンマイク (オープンエア型)
EME-50 ストレートコードイヤホン (耳かけ型)	EME-39A 車載イヤホンマイク
EME-21A イヤホンマイク (カナル型)	EMS-59 スピーカーマイク (PTTホールド、VOX機能搭載)
	ESC-61 ソフトケース

チャンネル表示

●交互通話

交互通話用の20チャンネルを搭載しています。(12.5kHzステップ)

レジャー9チャンネル	ビジネス11チャンネル
L01 (422.2000MHz)	b01 (422.0500MHz)
L09 (422.3000MHz)	b11 (422.1750MHz)

●中継通話

中継通話用の27チャンネルを搭載しています。(12.5kHzステップ)

レジャー9チャンネル	ビジネス18チャンネル
L10 (421.8125/440.2625MHz)	b12 (421.5750/440.0250MHz)
L18 (421.9125/440.3625MHz)	b29 (421.7875/440.2375MHz)

定格

送信周波数	レジャーチャンネル	422.2000 ~ 422.3000MHz (交互)
		421.8125 ~ 421.9125MHz (中継受信)
		440.2625 ~ 440.3625MHz (中継送信)
	ビジネスチャンネル	422.0500 ~ 422.1750MHz (交互)
		421.5750 ~ 421.7875MHz (中継受信)
		440.0250 ~ 440.2375MHz (中継送信)
	制御チャンネル	421.8000/440.2500MHz
電波形式	F3E (FM) / F1D (FSK)	
送信出力	10mW / 1mW	
受信感度	-14dBu (12dB SINAD)	
音圧出力	400mW以上 (本体スピーカー) / 80mW以上 (外部出力)	
通信方式	単喜 / 半複信	
定格電圧	DC4.5V (単三形乾電池3本)	
動作温度範囲	-10 ~ +50°C	
寸法	幅54.8mm × 高さ94mm × 厚さ27.3mm (突起物除く)	
	アンテナ上方向状態の高さ165.4mm	
重量	約174g (単三形乾電池3本含む/ベルトクリップ除く)	

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。
本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。

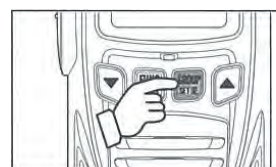
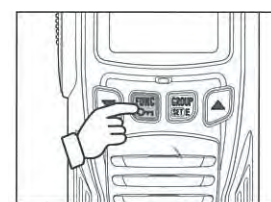


音声通話の明瞭度を上げたいときは...

バックノイズを低減させる“コンパnder機能”を設定する。

- ① [FUNC]キーを押しながら[GROUP]キーを押します。
⇒ディスプレイが『bt-AL』と表示されます。
- ② [GROUP]キーをもう一度押します。
⇒ディスプレイが『CP-oF』と表示されます。
- ③ △(アップ)▽(ダウン)キーを押してディスプレイを『CP-on』に変更します。
- ④ PTT(送信)ボタンを押して設定を完了します。

※通話相手も同様に設定してください。当機能が無い機種が通話相手の場合は OFF に設定してください。



設定状態がわからなくなったときは...

リセット(初期化)をする。

- ① 電源/音量ツマミを反時計方向に回して電源を切ります。
- ② [FUNC]キーを押しながら電源/音量ツマミを時計方向に回して電源を入れます。
- ③ ディスプレイ表示が全て点灯中に[FUNC]キーを離すと、工場出荷状態(初期化)します。

ALINCO

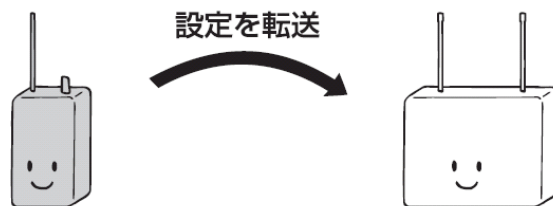
特定小電力ハンディトランシーバー
(総務省技術基準適合品)

DJ-PB27

リモコンモード
操作マニュアル



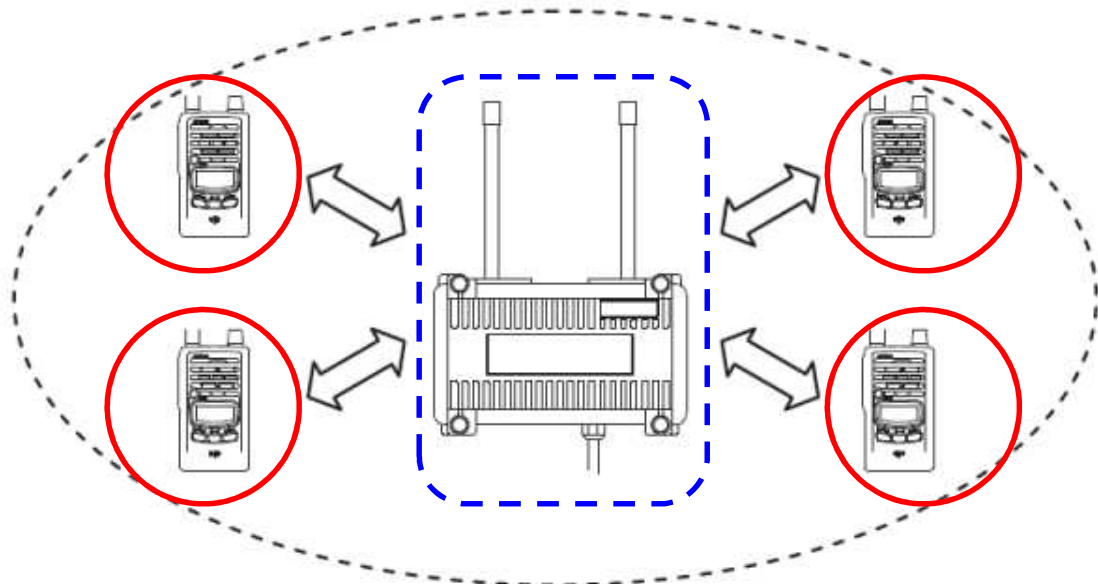
リモコン機能を搭載した本機を使用すれば、中継器のチャンネルやその他の設定を無線通信で遠隔操作できます。



リモコンによる遠隔操作では、中継器のケースを開けてスイッチを操作する手間が不要になり、設置したあとも設定変更が容易に行えます。

一旦リモコン設定が完了すれば、他の中継対応子機(ALINCO 製)でも通話がおこなえます。

■ 対応機種



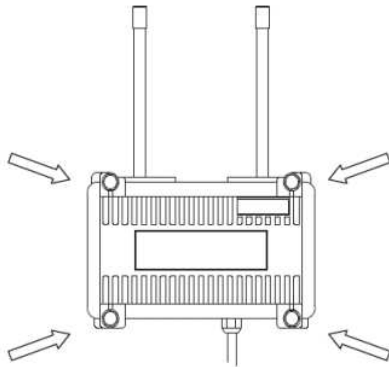
子機 DJ-P221 電池3本で長時間運用が可能な1台

中継器 DJ-P101R 屋外常設タイプ(全天候対応・ヘビーデューティー仕様)
DJ-P111R 屋内設置タイプ
DJ-P112R 屋内設置タイプ(コンパクト)

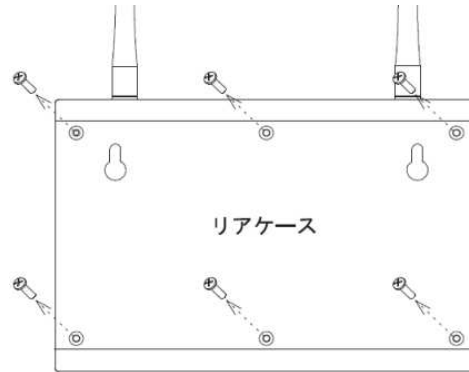
■ 中継器の操作

- ① **中継器** 電源を切ります。(AC アダプターをコンセントから抜いてください。)
 ※ 中継器には電源スイッチはありません。

- ② **中継器** ケース前面のボルト(ビス)を外し、ケースを開けます。



DJ-P101R

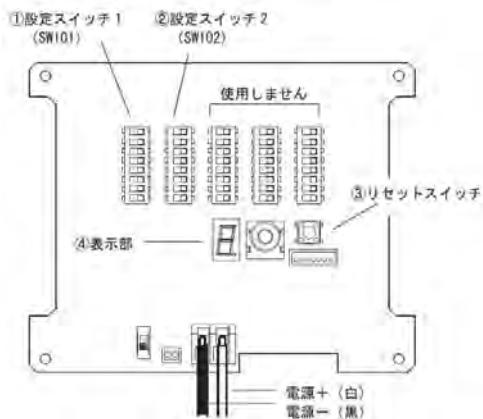


DJ-P111R(ビス 6 ヶ)
 DJ-P112R(ビス 4 ヶ)

- ③ **中継器** 設定スイッチ 1・2 をすべて OFF 側にします。

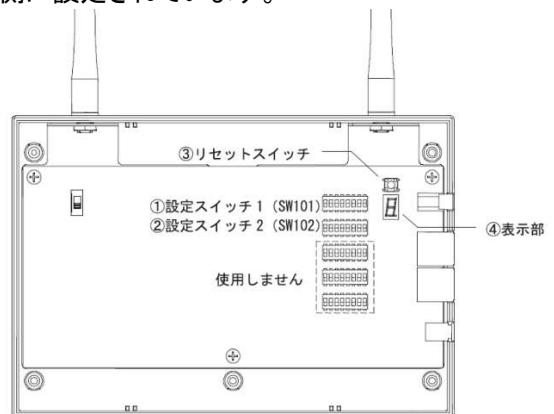
※ スイッチ 3・4・5 は使用しません。

※ 初期状態では、すべてのスイッチが OFF 側に設定されています。



DJ-P101R

本図 左 = スイッチ ON 側
 右 = スイッチ OFF 側



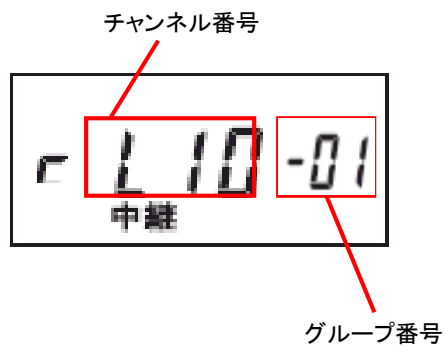
DJ-P111R / DJ-P112R

上 = スイッチ ON 側
 下 = スイッチ OFF 側

- ③ **子機** [▲]キーを押しながら電源を入れます。
 ディスプレイには『rEmCon』と表示したあと、
 左に『r』が点滅します。



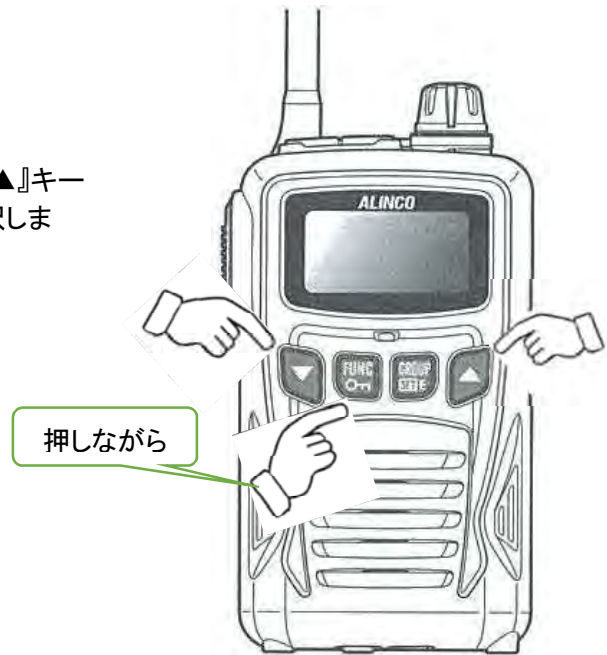
- ④ **子機** 中継器へ転送する希望の項目を設定します。



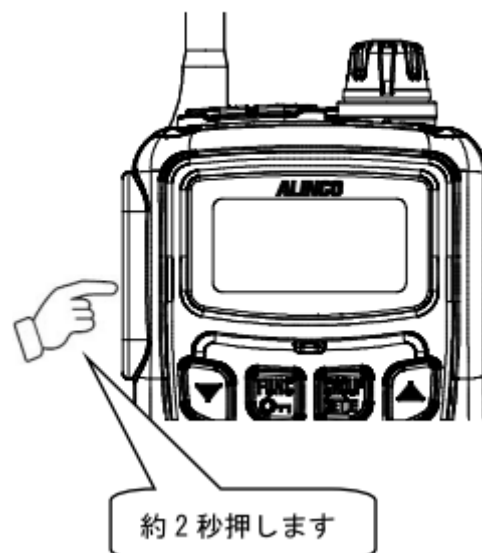
- チャンネル数の設定
『▼』または『▲』キーを押して中継通話用チャンネルの L10～18、b12～29 を選択します。

- グループ番号の設定
[GROUP]キーを押します。
グループ番号が点灯します。

『FUNC』キーを押しながら『▼』または『▲』キーを押してグループ番号の 01～50 を選択します。



- ⑤ **子機** [PTT]キーを約 2 秒押します。
“ピピツ”と鳴って中継器への希望項目が転送されます。
転送中は『SEnd』が表示されます。



- ⑥ **中継器** 速やかに中継器の電源を入れます。
(ACアダプターをコンセントへ接続します。)
子機と中継器間で、自動的に無線通信が開始されます。
- ⑦ 数秒後に設定内容の転送が完了すると、**子機**からは『○○』表示と
“プルル”音でお知らせするとともに、**中継器**は自動的に再起動します。
- 約20秒後、**中継器**は使用可能となります。
中継器は電源を入れてから約20秒間は初期化をおこなっています。
動作状態では表示部に『0』が点灯しています。
- ⑧ **中継器** 設定を済ませ動作確認をおこなったあと、ケースを元通りにしボルト(ビス)
で閉めてください。
- ⑨ **子機** [パワー]キーを約2秒間押し続けて電源を入れます。
これで中継通信モードに戻ります。
中継器が正常に動作することを確認してください。



リモコンによる遠隔操作をおこなったあとに、中継器のスイッチ操作によるチャンネル変更をおこなうこともできます。
その場合はスイッチによる設定内容が優先されます。
改めてリモコン操作をおこなうには、中継器の設定スイッチ 1・2 をすべて OFF 側に
戻してください。